年頭のごあいさつ

幸田町長　成瀬（なるせ）　敦（あつし）

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、本町は土地区画整理事業など人口誘致施策により、人口減少、少子高齢化が進展する社会情勢の中、人口増加を続けており昨年12月1日現在、42589人の町民が暮らすまちです。特に生産人口となる若い方が多く、町内に工業団地を8か所整備し、製造出荷額が1兆円を超えるものづくりのまちでもあります。

本町の総合戦略では、「幸田町の体力（産業力）増進と魅力発信により、第3子が安心して産めるなめらかなまちづくり」をスローガンに掲げています。そのため産業力の向上としての企業支援や企業誘致施策の推進を行いながら、子育てのしやすいまちとして待機児童の解消などをはかり、各種子育て支援策を展開しております。

⬆感染症に配慮した避難所設営訓練

また、幸田町の魅力として、豊かな自然を通じて春のしだれ桜まつり、夏のこうた夏祭り、秋の産業まつり、冬のこうた凧揚げまつりといった四季折々の行事を行っていきます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの日常生活、社会活動においてまさに国難ともいうべき局面に直面しました。本町においてはいち早く幸田町新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、以後日々変化する感染状況等を捉えながら必要な施策として100近い緊急経済対策を講じてまいりました。収束の兆しが見えてこない状況ではありますが、町民の皆さまとともに引き続き全力で対策に努めてまいります。

令和という新時代を迎えスタートプランとして、ウィズコロナの考えのもと、「安全テラスセンター24」を設置し、近年激甚化、頻発化する大規模災害から、24時間まちの安全安心を見守る体制を構築していきます。連携協定を締結しました藤田医科大学との協力態勢を進めていきます。また、都市交通マスタープランの改訂にもとづき、デマンド交通などを効果的に配置する公共交通網の整備を進めていきます。JR三ケ根駅のバリアフリー化をはじめとした、深溝地区のまちづくりを、三ケ根未来工房を拠点に施策を進めてまいります。

⬆デマンド交通「チョイソコこうた」

本年も、様々な機会において町民の皆さまの声を伺い、第6次幸田町総合計画において目指すべき将来像である「みんなでつくる元気な幸田」の実現に向けて、全力で取り組んでまいりますので、町政への変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

併せまして、町民の皆さまのご健康とご多幸を祈念いたしまして、年頭のあいさつといたします。

特集 新成人と語る会

新しい年の幕開けです。10月29日㈭に男女11人の新成人の皆さんにお集まりいただき、幸田町について思っていること、自分たちが考えていることなどを語っていただきました。なお、内容は要約してあります。（本文敬称略）

町長：幸田町をより良いまちにするため、若い人の意見や考えを引き出して尊重していきたいと考えています。

教育長：これからのまちづくりには、若い人たちのアイデアが必要です。思っていることを遠慮せずに言ってください。

○幸田町の好きなところ、幸田町をPRするならここ！

町長：皆さんが思う幸田町の好きなところやPRできるところを教えてください。

畔柳：岡崎から幸田へ帰ると一気に景色が変わり、幸田へ帰ってきたなと感じます。自然が多くて夜も静かで落ち着く雰囲気があるところです。

鈴木：田んぼばかりだけど、夜は星が見えて自然が豊かなところです。

町長：幸田町は筆柿、ナシ、ナス、ブドウ、モモなど1年中特産物があります。また主力企業が多数あり、ふるさと納税が順調であります。

甲村：特に不自由なく生活するには過ごしやすいところです。不便に感じることがなくはないですが、小・中学校、高校、スーパー、駅もあり平凡に生活できます。

都築：PRできるところは相見駅だと思います。夕方頃駅に行くと子どもが虹色の噴水で遊んでいて、雰囲気がいいなと思います。

町長：相見駅は無人駅ではあるものの駅前にマルシェができる広場があり、ぜひPRしていただきたいです。

永谷：三ケ根駅では冬になると東西どちらにもイルミネーションがあるのがいいところです。

町長：三ケ根駅は町内で1番古い駅舎になりました。イルミネーションで盛り上げていて素晴らしいです。現在、三ケ根駅をバリアフリー化できるように検討しています。

永谷：確かにバリアフリーになっていないためエレベーターがほしいです。

○幸田町の未来、こんなまちになってほしい！

町長：幸田町が将来こんなまちになるといいなという意見があれば教えてください。

手島：名古屋市にある施設で、大学生と外国の文化を伝えたい人が集まりプロジェクトを行っています。幸田町でももっと外国籍の人と気軽に交流したいです。多文化共生が進ん

都築 沙也加さん
（相見在住）

甲村 美歩さん
（高力在住）

畔柳 拓郎さん
（坂崎在住）

鈴木 勇人さん
（久保田在住）

山本 瑞稀さん
（六栗在住）

永谷 巴琉さん
（深溝在住）

だ町になるといいと思います。

生島：桜坂では高齢化が進んでいて自分より下の子が少なくなってきています。人口が増えても高齢化が進んでしまうため、人口を増やすと同時に少子化対策をした方がいいと思います。

三谷：幸田町で学生が夜遅くまで勉強できる環境がほしいです。高校生の頃は、学校が午後6時に閉まってしまいます。家では勉強がしづらいため夜遅くまで勉強できる施設があるといいと思います。

畔柳：高校の受験期に学校が終わって図書館に行っても午後7時に閉まってしまいます。大学に入学後は、レポートを作ろうと図書館へ行っても学校が終わってからだと、閉まっています。午後10時まで開いていると調べ物などで利用できます。また参考図書も種類が少なく不便に感じました。

町長：図書館を夜も開放し、学生や社会人の人が利用しやすいように午後10時くらいまでは勉強できる環境になるように検討していきたいです。

坂下：幸田駅には快速が停まりません。もう少し、駅の周りを発展させれば、快速が停まるのではないかと思います。また、東側にしか改札がないため西側にもあれば、朝の通勤者と交わらずにすみます。利用しやすい駅になるとうれしいです。多くの人の希望だと思います。

○町長に聞いてみたいこと

山本：幸田町の保育士として子どもと関わりたいです。高齢化と聞くと、子どもが減り保育園がなくなってしまうのかなと感じ、保育士が減らされてしまうか心配です。

町長：幸田町では正規職員の保育士が約70人程度働いています。あとは会計年度任用職員です。民営的な保育園をつくり非正規の人にも正規になってもらえるような環境ができればと考えています。

町長：犬塚さんから「幸田駅の構想は？」と言う声をいただいています。幸田駅前にコンビニができる予定です。将来的には橋上化の駅をつくり、町の玄関であり快速が常時停まるように乗降者数を増やさなければならないと考えています。

犬塚：わかりました。

鈴木：スポーツ選手と触れ合えるような機会はありますか。

町長：本年度からスポーツ大使として元サッカー選手の加藤康弘さんを委嘱しました。各種スポーツの推進や交流活動をしていただきます。また、凧揚げまつりの会場でもある場所を普段はグラウンドとして利用できるように計画して災害時は遊水地として水害から守る事業を推進しています。

生島：自分が大学で新型コロナウイルスについて学び、危ないウイルスだと知りました。町のホームページを見ても抽象的で施策がよく

三谷 倖生（みたに こうき）さん
（六栗在住）

手島 瑠美（てしま るみ）さん
（横落在住）

犬塚 瑞稀（いぬづか みずき）さん
（菱池在住）

生島 広夢（しょうじま ひろむ）さん
（菱池在住）

坂下 歩夢（さかした あゆむ）さん
（荻在住）

第73回 幸田町成人式

と　き　1月11日㊊㊗
受　付　午後1時～
開　式　午後1時30分
ところ　町民会館さくらホール

新成人データ（令和2年12月1日現在）
男性305人　女性229人　合計534人

⬆昨年の成人式の様子

分からなかったためどんな施策があるのかお伺いしたいです。

町長：コロナ禍の取り組みについては第1次から第4次緊急経済対策を実施しました。感染予防が特に大事であると感じています。町独自の対策として2000円のうまい～もんチケットなどを実施しています。また、感染予防として11月に75歳以上の人にマスクを配布します。ご両親が倒れたら困るため医療的ケア児にも助成をしていきたいと考えています。また、近隣市などは報道で施策を説明する機会があると思いますが、町ではそういう機会が少ないです。浸透していないのであれば、やっていることを知らせなければならないと思っています。SNSなどでの発信が不足しているので、私の考え方を周知していきたいと思います。

坂下：町長と話ができるせっかくの機会のため最後にいくつか伝えたいです。筆柿は幸田町のマスコットやイメージとなっていますが、筆柿農家が減ってきているのでせっかくの品種がなくなってしまうのではないかと心配です。次に岡崎市との関わりをもってほしいです。近隣市との関わり方が重要であると考えています。また、アウトレットモールなどができれば幸田町が盛り上がると思います。

町長：農家の担い手不足は町としても大きな課題と捉えています。また、近隣市との関わり方については非常に重要であり、消防、ごみの処分など多数の事業で連携が必要であるため協調していきたいと考えています。

町長：いろいろな角度から、お話を聞かせていただきました。幸田町にあるもの、ないものもありますが、期待できるまちだと思ってもらえたらうれしいです。

問合せ　企画政策課情報グループ
☎（0564）62・1111（内線442）
FAX（0564）63・5139